

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公開番号】特開 2018-198769 (P2018-198769A)

【公開日】平成 30 年 12 月 20 日 (2018.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-049

【出願番号】特願 2017-104810 (P2017-104810)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 22 日 (2020.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域と、

その遊技領域を流下する遊技球を、所定タイミングにおいて特定流路へと流下させない  
ように第 1 位置に位置させることが可能な第 1 状態と、前記第 1 位置に位置している遊技  
球を前記特定流路へと流出させることが可能な第 2 状態と、に可変可能な手段と、

遊技球が入球することに基づいて遊技者に有利な特典が付与される特定入球手段と、  
遊技者が操作可能な操作手段と、

その操作手段への操作に基づいて成立する第 1 条件の成立に関連して成立し得る第 2 条  
件が成立したことに基いて、前記手段を前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変させる  
制御手段と、

その制御手段により前記手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変されることで前  
記特定流路を流下する遊技球が、前記特定入球手段へと入球し易い第 3 状態と、その第 3  
状態よりも前記特定入球手段へと入球し難い第 4 状態とに可変可能な可変手段と、

その可変手段を、所定の動作開始タイミングから予め可変タイミングが規定されている  
可変パターンに従って可変制御する可変制御手段と、

判別条件が成立した場合に、判別を実行可能な判別手段と、

その判別手段による判別結果を示すための演出を実行可能な演出実行手段と、

前記判別手段による判別結果が、特定判別結果である場合に、特典遊技を実行可能な特  
典遊技実行手段と、を有する遊技機において、

前記可変制御手段により前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されることを示すための  
態様を含む示唆演出を所定期間実行可能な示唆演出実行手段を有し、

前記示唆演出実行手段は、

少なくとも前記特典遊技が実行されている期間において前記示唆演出を実行可能であり  
、

前記可変手段が前記第 3 状態へと可変される特定タイミングよりも前に前記態様が表示  
されるように前記示唆演出を実行可能であり、

少なくとも前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されるまで前記示唆演出を継続して実

行可能であり、

前記遊技機は、前記特定流路を遊技球が流下可能な状態において、前記特定流路を遊技球が流下困難な状態よりも、前記特定流路の少なくとも一部を遊技者に視認させ易くすることが可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記示唆演出が表示される表示手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機において、遊技盤に打ち出された遊技球を入球口へと流下させる構成を有するものがある。これにより、興趣向上を図っていた。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、遊技球が流下可能な遊技領域と、その遊技領域を流下する遊技球を、所定タイミングにおいて特定流路へと流下させないように第 1 位置に位置させることが可能な第 1 状態と、前記第 1 位置に位置している遊技球を前記特定流路へと流出させることが可能な第 2 状態と、に可変可能な手段と、遊技球が入球することに基づいて遊技者に有利な特典が付与される特定入球手段と、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段への操作に基づいて成立する第 1 条件の成立に関連して成立し得る第 2 条件が成立したことに基づいて、前記手段を前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変させる制御手段と、その制御手段により前記手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変されることで前記特定流路を流下する遊技球が、前記特定入球手段へと入球し易い第 3 状態と、その第 3 状態よりも前記特定入球手段へと入球し難い第 4 状態とに可変可能な可変手段と、その可変手段を、所定の動作開始タイミングから予め可変タイミングが規定されている可変パターンに従って可変制御する可変制御手段と、判別条件が成立した場合に、判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための演出を実行可能な演出実行手段と、前記判別手段による判別結果が、特定判別結果である場合に、特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記可変制御手段により前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されることを示すための態様を含む示唆演出を所定期間実行可能な示唆演出実行手段を有し、前記示唆演出実行手段は、少なくとも前記特典遊技が実行されている期間において前記示唆演出を実行可能であり、前記可変手段が前記第 3 状態へと可変される特定タイミングよりも前に前記態様が表示されるように前記示唆演出を実行可能であり、少なくとも前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されるまで前記示唆演出を継続して実行可能であり、前記遊技機は、前記特定流路を遊技球が流下可能な状態において、前記特定流路を遊技球が流下困難な状態よりも、前記特定流路の少なくとも一部を遊技者に視認させ易くすることが可能である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1】

本発明の遊技機によれば、遊技球が流下可能な遊技領域と、その遊技領域を流下する遊技球を、所定タイミングにおいて特定流路へと流下させないように第 1 位置に位置させることが可能な第 1 状態と、前記第 1 位置に位置している遊技球を前記特定流路へと流出させることが可能な第 2 状態と、に可変可能な手段と、遊技球が入球することに基づいて遊技者に有利な特典が付与される特定入球手段と、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段への操作に基づいて成立する第 1 条件の成立に関連して成立し得る第 2 条件が成立したことに基づいて、前記手段を前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変させる制御手段と、その制御手段により前記手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態へと可変されることで前記特定流路を流下する遊技球が、前記特定入球手段へと入球し易い第 3 状態と、その第 3 状態よりも前記特定入球手段へと入球し難い第 4 状態とに可変可能な可変手段と、その可変手段を、所定の動作開始タイミングから予め可変タイミングが規定されている可変パターンに従って可変制御する可変制御手段と、判別条件が成立した場合に、判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための演出を実行可能な演出実行手段と、前記判別手段による判別結果が、特定判別結果である場合に、特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記可変制御手段により前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されることを示すための態様を含む示唆演出を所定期間実行可能な示唆演出実行手段を有し、前記示唆演出実行手段は、少なくとも前記特典遊技が実行されている期間において前記示唆演出を実行可能であり、前記可変手段が前記第 3 状態へと可変される特定タイミングよりも前に前記態様が表示されるように前記示唆演出を実行可能であり、少なくとも前記可変手段が前記第 3 状態へと可変されるまで前記示唆演出を継続して実行可能であり、前記遊技機は、前記特定流路を遊技球が流下可能な状態において、前記特定流路を遊技球が流下困難な状態よりも、前記特定流路の少なくとも一部を遊技者に視認させ易くすることが可能である。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】1 2 1 0  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【1 2 1 0】

上記各遊技機のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 2 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機において、遊技者が操作可能な操作手段を複数設け、各操作手段

が操作されたことに基づいた操作演出が実行されるものがある。この従来型の遊技機では、遊技者が複数の操作手段のうち、演出に対応する操作手段を操作することで操作演出が実行されるものであるため、演出にあわせて操作手段を選択するという楽しみを遊技者に提供することができる。これにより、興趣向上を図っていた（例えば、特許文献１：特開 2011-235016 号公報）。

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

#### < 手段 >

この目的を達成するために技術的思想１の遊技機は、遊技者が操作可能な第１操作手段と、その第１操作手段に対して操作がされたことを判別する第１判別手段と、遊技者が操作可能な前記第１操作手段とは異なる第２操作手段と、その第２操作手段に対して操作がされたことを判別する第２判別手段と、前記第１判別手段または前記第２判別手段による判別結果に基づいて、所定演出を実行する演出実行手段と、を有するものであって、前記第１操作手段の可変動作に連動して前記第２操作手段を可変動作させるための連動手段と、その連動手段を、前記第１操作手段に対して前記第２操作手段を連動させる連動状態と、その連結状態を解除する解除状態とに可変させる可変制御手段と、を有し、前記可変制御手段は、所定条件が成立した場合に前記連動手段を前記連動状態に可変させるものである。

技術的思想２の遊技機は、技術的思想１記載の遊技機において、前記演出実行手段は、前記可変制御手段によって前記連動手段が前記連動状態に可変されている状態で、前記第１操作手段を操作した場合には、前記第２判別手段による判別結果に基づいて前記所定の演出を実行するものである。

技術的思想３の遊技機は、技術的思想２記載の遊技機において、前記第１操作手段および前記第２操作手段は、第１位置から第２位置へと移動可能に構成されるものであり、前記第１判別手段および前記第２判別手段は、それぞれに対応する前記第１操作手段または前記第２操作手段が前記第２位置へと移動したことを判別するものであって、前記第１操作手段を前記第１位置から前記第２位置まで移動させる距離よりも、前記第２操作手段を前記第１位置から前記第２位置まで移動させる距離のほうが短いものである。

技術的思想４の遊技機は、技術的思想１から３のいずれかに記載の遊技機において、前記連動手段は、外部から視認困難な遊技機内部に設けられているものである。

技術的思想５の遊技機は、技術的思想１から４のいずれかに記載の遊技機において、球が流下可能な遊技領域と、その遊技領域に設けられ、入球した球を貯留可能な貯留手段と、遊技球が入球することに基づいて遊技者に有利な特典が付与される特定入球手段と、前記第２操作手段に対する操作に基づいて、前記貯留手段を球が貯留可能な貯留状態から、前記貯留状態を解除する解除状態へと可変させる貯留制御手段と、その貯留制御手段により前記解除状態に可変されることで前記貯留手段から流出した球が前記特定入球手段へと入球し易い第１状態と、前記流出した球が前記特定入球手段へと入球し難い第２状態とに可変可能な可変手段と、を有するものである。

#### < 効果 >

技術的思想１記載の遊技機によれば、遊技者が操作可能な第１操作手段と、その第１操作手段に対して操作がされたことを判別する第１判別手段と、遊技者が操作可能な前記第１操作手段とは異なる第２操作手段と、その第２操作手段に対して操作がされたことを判別する第２判別手段と、前記第１判別手段または前記第２判別手段による判別結果に基づいて、所定演出を実行する演出実行手段と、を有するものであって、前記第１操作手段の可変動作に連動して前記第２操作手段を可変動作させるための連動手段と、その連動手段を、前記第１操作手段に対して前記第２操作手段を連動させる連動状態と、その連結状態を解除する解除状態とに可変させる可変制御手段と、を有し、前記可変制御手段は、所定条件が成立した場合に前記連動手段を前記連動状態に可変させるものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏するものである。即ち、前記演出実行手段は、前記可変制御手段によって前記連動手段が前記連動状態に可変されている状態で、前記第 1 操作手段を操作した場合には、前記第 2 判別手段による判別結果に基づいて前記所定の演出を実行するものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏するものである。即ち、前記第 1 操作手段および前記第 2 操作手段は、第 1 位置から第 2 位置へと移動可能に構成されるものであり、前記第 1 判別手段および前記第 2 判別手段は、それぞれに対応する前記第 1 操作手段または前記第 2 操作手段が前記第 2 位置へと移動したことを判別するものであって、前記第 1 操作手段を前記第 1 位置から前記第 2 位置まで移動させる距離よりも、前記第 2 操作手段を前記第 1 位置から前記第 2 位置まで移動させる距離のほうが短いものである。

これにより、第 1 操作手段を操作した際に確実に第 2 判別手段の判別結果に基づく演出を実行することが可能となる。よって、簡単な構成で意外性のある演出を実行することができるという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記連動手段は、外部から視認困難な遊技機内部に設けられているものである。

これにより、遊技者に対して、意外性のある演出を提供することができ、演出効果を高めることができるという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 から 4 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、球が流下可能な遊技領域と、その遊技領域に設けられ、入球した球を貯留可能な貯留手段と、遊技球が入球することに基づいて遊技者に有利な特典が付与される特定入球手段と、前記第 2 操作手段に対する操作に基づいて、前記貯留手段を球が貯留可能な貯留状態から、前記貯留状態を解除する解除状態へと可変させる貯留制御手段と、その貯留制御手段により前記解除状態に可変されることで前記貯留手段から流出した球が前記特定入球手段へと入球し易い第 1 状態と、前記流出した球が前記特定入球手段へと入球し難い第 2 状態とに可変可能な可変手段と、を有するものである。

これにより、演出効果を高めることができるという効果がある。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1211

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1211】

10	パチンコ機（遊技機）
630	特定一般入球口（特定入球手段）
750	可動弁（可変手段）
770	第 1 貯留装置（手段の一部）
771	第 2 貯留装置（手段の一部）
S1008	制御手段
S1009	可変制御手段
S2111	示唆演出実行手段